

Next Stage

欧米・アジア各国に監視ソフト展開へ

コムスクエア 上 嶋 靖社長

ICT（情報通信技術）サービス企業のコムスクエアが、サーバーやネットワークを監視するソフトウェア「パトロールクラリス」と、成果報酬型（アフィリエイト）の広告を電話で実現した「ペーパーコール」の2つの中核事業を順調に伸ばしている。在学中に創業し、事業を軌道に乗せた上嶋靖社長は今、海外展開に力を入れている。

——クラリスの特徴は

「コンピューターシステムの不具合を検知する監視ソフトは、従来のエージェント型のソフトだと全てのサーバーにプログラムを入れないといけないが、エージェントレス型のクラリスは1台の監視サーバーに設定するだけで、各サイトの挙動を1分ごとに監視できる」

——コストも抑えられるのか

「導入企業で総コストがほぼ半分になった例がある。操作性



うえしま・やすし 青山学院大学在学中に起業し、現職。49歳。北海道出身。

に優れたインターフェースのわかりやすさも、人件費の大幅な削減につながっている」

——ソフトの販売は順調か

「既に600社を超えており、この事業の売上高は倍増ペースで伸びている。システムの基本監視項目が無料・無制限で使い放題になるキャンペーンも始め、新規顧客の獲得を図る」

——海外戦略は

「英語のソフトを使う米欧各

国をはじめ、インドなどアジア太平洋地域の各国での拡販を目指す。現地のパートナーと組み、エンジニアの教育も進めていきたい。中国など数カ国では既に代理店を展開している」

——米国に後れをとる日本のソフトは海外で通用するのか

「日本発のソフトを世界に売り込むというチャレンジをした。海外の大手とも今なら戦える。スピードが大事だ」

——2003年に始めたペーパーコールの仕組みと現状は

「サイトに表示された『予約専用番号』に電話を掛けてきた利用者が、どの広告やサイトを見たのかだけでなく、いつ、何分ほど通話が成立したかも把握できる。ヤフー、マビオンなどの各社に採用してもらい、売り上げは20%増のペース。特許も日本や米国で成立し、EU圏や中国にも出願している」

——今後の展開は

「広告を見て電話をかけてきたユーザーに、ショートメッセージサービス（SMS）で誘客情報を送ったり、地域の商店・サービスの広告を配信する仕組みなど、ネットから電話、そしてリアル店舗へと誘導する『O2O』（オンライン・ツー・オフライン）支援機能を強化している」

（村山雅弥）

■会社概要

▷本社＝東京都江東区塩浜2-2-13（☎03・4461・2511）

▷設立＝1989年11月（設立時の社名は「シンセサイズ」）

▷資本金＝3億4562万円

▷従業員＝52人

▷事業内容＝電話による成果報酬型の広告を実現した音声型のクラウドサービス「ペーパーコール」と、コンピューターシステムの監視ソフト「パトロールクラリス」の販売